

ふれあい

題字 高橋峰外

H25.4 特別号

川淵 三郎理事長 就任の挨拶

平成25年4月1日付けで公立大学法人首都大学東京理事長に就任した川淵三郎です。猪瀬東京都知事から東京都教育委員の経験、17年間のJリーグのチェアマンや日本サッカー協会会長としての組織運営の経験を、公立大学法人首都大学東京の発展に活かしてほしいとの話をいただき、自分としても挑戦する気持ちで引き受けさせていただきました。本学の発展に原島学長、石島学長、荒金校長以下教職員の皆さん、関係者の皆さんの協力を得て努力していきたいと思っております。



Jリーグでの経験から



「愚者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ。」とよく言われています。私は賢者ではありませんので、サッカーを通じて得た経験の中での話をさせていただきます。

日本のプロサッカーリーグであるJリーグは今からちょうど20年前にスタートしました。スタートする更に5年前になります。トップチームを持つ大企業の幹部はサッカーのプロ化に猛反対しました。成功するわけがない、赤字の垂れ流しをする会社を設立してどうするのか、前例がないといわれました。当時の日本サッカーは、実力もない、スタジアムもない、環境も整っていない、オリンピックにも二十数年間出たこともなく、反対も当然のことでしたが、その上、時期尚早と協会の幹部からも言われました。私はこのときに、「時期尚早という人は、100年経っても時期尚早という、前例がないという人は、200年経っても前例がないという。」と話しました。一方、その背後で、綿密にヨーロッパのサッカーを調査し、課題を抽出して対策を検討し、理論武装することにより、大きな高い壁を乗り越え、Jリーグをスタートさせました。その結果、スタートから3年後28年ぶりにオリンピック出場を果たしました。そして、夢のまた夢といわれたワールドカップにも5年後出場し、さらに、ワールドカップの日韓共同開催も実現しました。もし、当時、時期尚早、前例がないと恐れをなして挑戦をしなかったら、マンチェスターユナイテッドで活躍する香川選手、インテルの長友選手など20人ものヨーロッパの一流クラブで活躍する選手を輩出することは難しかったと考えます。

これからの日本を見据えて



これからの日本社会は少子高齢化や人口減少、エネルギー問題、国内経済の縮小、そして防災等、かつて経験したことがない社会が出現します。これらに対応しようと

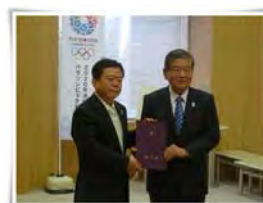
するとき、必ず時期尚早、前例がないという高い壁が立ちます。これを打破するためにしっかり理論武装し、前例を壊し、そして新しい前例を作してほしいと願っています。



高い志を持って

Jリーグの理念は「豊かなスポーツ文化を振興し、国民の心身の健全な発達へ寄与すること」です。この理念があったからこそ、そして、理念を継承し、具現化する活動があったからこそ、20年前10クラブでスタートしたリーグが今、40クラブにも成長しました。1990年当時、日本サッカー協会の年間予算はわずか10億円でしたが、現在はJリーグ、クラブの予算を総計すると1000億円を超す新しい企業グループが誕生したといえます。理念は、空念仏に終わったら何の意味もありません。理念を軽視する組織は糸が切れた凧と同じで行方が知れません。先人が高邁な精神のもとに築き上げた理念を継承、具現化することなく、努力を怠り、歩む道を踏み外した組織が世間の批判を浴びるのは当然のことと思います。

この理念というものを個人として置き換えた場合、私は「志」ではないかと思います。志は自分が生きていく方向を示すものです。高い志を持って、世のため、人のため、生きようとする人間が増える程、精神的に豊かな日本が実現します。教職員一人一人が組織の理念を理解するとともに、個人としての高い志を持ちチーム一丸となって、公立大学法人首都大学東京を国内外に誇る法人に発展させていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



川淵三郎

▶ 猪瀬直樹都知事から川淵三郎理事長への辞令の交付の様子（平成25年4月1日 東京都庁）

祝！平成25年度 入学式特集！



首都大

【日時】平成25年4月7日（日）
【場所】東京国際フォーラム ホールA

心配された雨も前日中には上がり、入学式当日は風が少し強いものの晴天に恵まれました。開場を10分早め13時20分から新入生達が会場



入りし、恒例となっている入学式看板前での記念撮影が長蛇の列となりました。

開式に先立ち、首都大学東京管弦楽団による演奏や応援団によるエー



【入学生】学部生 : 1,628名
大学院生 : 887名 計 : 2,515名

ルで新入生を迎えました。原島学長からは「思い切り勉強し、思い切り楽しみ、悔いのない青春の1ページを飾ってほしい」、川淵理事長からは「壁を乗り越える力を培ってほしい」「前例を壊し、新しい前例をつくる学習を極めてほしい」、猪瀬東京都知事からは「自分で仮説を立て実証する努力を重ねてほしい」「学生時代に500冊は本を読んでほしい」といった言葉が新入生に贈られました。



産技大

【日時】平成25年4月6日（土）
【場所】品川シーサイドキャンパス

懸念された天候も平穏に保たれ、新入生は晴れやかな面持ちで入学式に参加しました。式典では始めに新入生一人一人が紹介され、続いて石島学長から「広い視野を持ち、新しいグローバル産業を担う真のプロフェッショナルへと成長して



ほしい」、川淵理事長から「向上心を持ち続け、この大学のため、都のため、日本のため、ひいては世界のために勉強を続けていってもらいたい」といった言葉をいただきました。

【入学生】情報7-枝花専攻 : 49名
創造技術専攻 : 43名 計 : 92名



また式典に続き、先輩学生との懇親の場として学生会主催の昼食会が開かれ、専攻ごとにガイダンスが行われるなど、新たな学生生活が始まりました。

専門職大学院である本学は、社会人学生に加え、学部新卒生、外国籍学生も多く、年齢や職業、国籍の異なる多様な学生が在籍しており、新入生は多彩な専門職人材を目指す本学において、日々切磋琢磨していくことになります。

高専

【日時】平成25年4月4日（木）
【場所】ティアラこうとう（東京・江東区）

当日は天候にも恵まれ、期待に胸を膨らませる新入生の様子が見られました。

荒金校長からは「誇りを持ったものづくりのスペシャリストを目指して欲しい、また協調する心を持って欲しい」、川淵理事長からは「本を読むことで見識を広げ、いろいろな疑似体験をして欲しい、また世界に



【入学生】本科 : 315名
本科4年次編入生 : 14名
専攻科 : 32名 計 : 361名

目を向け英語を勉強して欲しい」というお話がありました。また、来賓の方からは、「勉学とスポーツに励み、若いエネルギーを存分に発揮して、有意義で充実した学生生活を送って欲しい」、「首都東京のものづくりを担うスペシャリストとして、大きく成長されることを期待している」といったご挨拶をいただきました。



広報からのお知らせ



昨年12月から首都大Twitterを始めて早4ヶ月。4月には新入生のフォロワーも増え、現在1,500名を超えました！
広報ではイベント情報などをツイートしており、教職員の

みなさんの情報発信にもぜひご活用ください。
ツイートしたい情報がありましたらぜひ広報担当まで。
首都大学東京広報担当公式Twitterアカウント [@TMU_PR](https://twitter.com/TMU_PR)

ふれあい 特別号 平成25年4月発行
編集発行 公立大学法人首都大学東京
経営企画室 企画財務課 広報担当

